

平成30年度 第3回 羽島市立図書館協議会会議要旨

日 時	平成31年2月21日（金） 午後1時30分～午後3時10分
場 所	図書館2階研修室
出 席 者	<p>【平成30年度図書館協議会委員】任期：平成30年5月1日から2年</p> <p>図書館協議会委員長 野田 邦男 (学識経験者) 図書館協議会副委員長 坂田田壽子 (家庭教育関係者) 図書館協議会委員 小川 和彦 (学校教育関係者) 図書館協議会委員 森田 恵子 (社会教育関係者) 図書館協議会委員 鈴木 知温 (社会教育関係者) 図書館協議会委員 近藤栄美子 (学識経験者) 図書館協議会委員 武田千鶴子 (市民公募者)</p> <p>【市関係者】</p> <p><教育長> 伏屋 敬介 <事務局長> 山内 勝宣 <図書館長> 諏訪 公彦 <図書館長補佐兼総務係長兼図書係長> 田中 美穂 <図書係主査> 川上 行洋 <図書係主事> 内藤 さゆり</p>
内 容	<p>・7名の委員の半数以上の出席により、会議の成立を報告する。</p> <p>1 委員長挨拶</p> <p>2 教育長挨拶</p>
報告事項	<p>3 報告事項</p> <p>(1) 平成30年度図書館事業の進捗状況について</p> <p>— 資料に基づき報告 —</p> <p>・行事、団体貸出、見学・職場体験等受入、蔵書点検、工事 等</p> <p><委 員> 2月のブックリユースの実施状況はどのようなであったか。 <事務局> 1, 539冊の本を提供し、そのうち911冊が持ち帰られた。 <委 員> 転売目的で大量に持ち帰る人もいるのではないか。 <事務局> 当館としては用途まで確認しないが、中にはそういう方がみえるかもしれない。他の図書館でも同じような問題を抱えていると思う。 <委 員> 羽島高校との連携について、図書委員による推薦図書のコーナーを設けるとのことだが、可能なら図書館のおはなしひろばで読み聞かせを実践できると良い。 <事務局> 読み聞かせの担い手が不足しているということで、羽島高校の校長先生にお話を伺ったところ、授業の一環で小学校へ行って読み聞かせ</p>

をする機会があるとのことだった。また、地域との関わりを増やしていきたいという話もあった。当館としては、図書委員が校内で推薦図書をお知らせしている活動に合わせて、それらの本を用意して展示したり、当館で購入する本を高校生の視点から選書してもらったりすることを考えている。読み聞かせについては、せっかく今まで図書館まつりで協力してもらっているので、おはなしひろばも含めて無理のない範囲で継続できればと思う。高校生に積極的に携わっていただければ、いずれは担い手につながるだろうと考えている。

<委員> 蔵書点検の結果として、不明本115冊という数が多いのか少ないのか。

<事務局> 不明本とは、本来あるべき場所になく所在が確認できていない本ということになるが、毎年100冊前後はあり、例年どおりの数である。すべてが盗難によるものではなく、事務処理上のミスによるものも含んでいる。

<委員> 平成28年度に返却ポストを増設し、返却者がその場にいない状態で返却処理をすることが多くなるとリスクも増えると思ったが、不明本の数としてはやむをえない程度で推移をしているようだ。

<委員> 防犯カメラを増設して、その後どのような状況であるか。

<事務局> 過去に迷惑行為や不審者といった問題があったことから増設したのだが、館内に関しては特に何も起こっていない。ただ、駐車場においてはゴミを捨てるという迷惑行為が依然としてある。防犯カメラの設置がこうした迷惑行為の抑止力となることを期待している。

<委員> 照明器具のLED化について、実施率はどれぐらいか。

<事務局> 1階の開架については、ほぼ完了している。来年度は2階のレファレンス室や閲覧室等のLED化を実施する。数年かけて計画的に進めていく。

<委員> 赤ちゃんタイムにたくさんの方が来てくれているが、なぜ参加者が増えているのかを考えて先につなげていく必要がある。図書館のイベントで終わらせるのではなく、保健センターの指導員と連携するなどして先につなげていけると良い。

<事務局> これだけ人が集まるのは、例えば子ども連れでも本を読めるという意味での需要なのか、親子が安心してその場でコミュニケーションを図りながら時を過ごせることが良いのか。後者は本来の趣旨とは違うが、そのような希望・需要も考えられる。

<委員> お母さんの思いとして、やはり図書館だから安心して来られるとい

うのがあると思う。赤ちゃんタイムをきっかけとして、「本を借りて
いってね」「お母さんの声で読んで聞かせてね」と勧めている。

<事務局> 今は場所が手狭になってきたので、文化センター内のママママや児童センターも案内しているところである。会場の確保というハード面を考えてやっていたが、委員さんがおっしゃるとおり、もう少し先のことも考えて改善できるところは改善していきたい。

<事務局> 子どもだけでなく、親の表情が非常にリラックスしている。きっと、自分と同じように子育てをしている仲間を求めてこういう場に来るのだろうし、図書館だから来やすいという人は多いと思う。

<事務局> 形式的な読み聞かせだったら人は集まらないと思うが、ボランティアの皆さんが上手にやったださるので、それによるものは大きい。

<委員> 後継者育成も図書館で講座を開いてやってほしい。

(2) 平成30年度来館者アンケート調査結果について

— 資料に基づき報告 —

<委員> コスモパーク羽島での読書週間についてのアンケート結果を受けて、どのように活かしていく予定か。

<事務局> コスモパーク羽島の利活用と読書の推進という観点から、公園を読書の場として提供するにあたり、現状以上の整備が必要かどうかを検討する意図で質問した。アンケート結果を受けて、公園内のどこにベンチがあるとか、どこで読書ができるとかといった啓発的な掲示物を作ることを考えている。

<委員> 電子図書と音楽について、どのようなサービスを想定しているのか。

<事務局> どちらもインターネットを介したサービスである。電子図書とは、従来の印刷物ではなくスマートフォンやタブレットで本を見ることができるとあり、音楽は、インターネット上で音楽を聴くことができるサービスである。新しい図書館サービスの導入を検討するにあたり、どのくらい興味があるかを調べる意図で質問した。

<委員> 雑誌の最新号がカウンターで保管されており、自由に見ることができないので不便である。

<事務局> 小さいサイズのものは持ち帰りやすい可能性があるもので、今までどおりカウンターで保管しているが、大きいサイズのものはすべて出すように変更した。当館はセンサーやICタグでの管理をしていないた

め、無断で館外に持ち出されたとしても気付くことができない。また、雑誌についているクーポンを切り取られて裏の記事が読めなくなっていることもあるため、一部は現在もカウンターで保管している。

<委員> 不二羽島文化センターの利用者が図書館の駐車場に車を停めていくことは、以前からの課題である。

<事務局> 文化センターに対応を依頼し、看板や警備員の配置を徹底したり、イベント主催者への周知等に努めてもらったりしている。

協議事項

4 協議事項

(1) 平成31年度羽島市立図書館運営方針（案）について

— 資料に基づき説明 —

<委員> ホームページでアクセス数の管理はしているか。情報を入手する手段がいろいろあるなかで、ホームページがどれぐらい利用されているのか、また人々がどのルートで情報を手に入れているのかを把握する努力をされたほうが良いと思い提案する。

<事務局> 現状はカウント機能を付けていない。

<委員> 図書館の行事を広く知ってもらえると良いが、どのような方法があるか。

<事務局> 現在は、大きいイベントは回覧板を利用している。回覧板は有効な手段だが頻繁にはできない。他には、広報はしまで毎月赤ちゃんタイムやおはなしひろばを案内している。

<委員> やっている活動を充実させるだけでなく、次世代育成につなげる活動についても含めてもらえると良い。

<事務局> “充実”という文言が多いのは、現状では不十分と捉え、そのことも含め更なる充実をはかることを前提としている。

以上で終了。